

CHALLENGE NEWS

チャレンジニュース!!

—発行—
社会福祉法人 明徳会
〒861-5503
熊本市北区明徳町707-1
TEL(096)215-9101
FAX(096)245-2344

障害者支援施設
チャレンジめいとくの里

障がい者ケアホーム&グループホーム
orangehouse

4月号のラインナップ!!

P1. 運営ポリシー

P2. 「対談」

～新人職員と理事長・副施設長～

P3. 「1日密着取材」

～オレンジハウス世話人編～

P4. private eye その他

こころとこころが通う、

深く向き合った

支援をしよう。

challenge 2012

「日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔を。」

見せましょう。日本の底力、きずなを・・・」

施設長 松村 忠彦

今年の選抜高校野球での石巻工業高校、阿部主将の選手宣誓の一部です。落ち着きのあふ堂々とした立派な宣誓でした。試合内容も気迫に溢れた素晴らしい試合展開でした。

障がいのある人が同居する家族の死によって「孤立死」といったニュースが札幌市、立川市、横浜市、福岡と続いています。核家族化、高齢化が進み、家族・地域支えあい機能劣弱化に原因があると言われています。

熊本では「障害のある人もない人もともに生きる熊本づくり条例」が4月1日からスタートしました。まずは、社会的孤立状態にある高齢者、障がい者を守る手だてが必要です。チャレンジめいとくの里のスローガン「新しい家族のカタチがここにある」を追求する方法として、めいとくの里自治会による週一回程度の「おはよう電話」にチャレンジしてみたいと思います。「おはよう電話」を希望される方を募集致します。

Private Eyes !

～「私のおススメの一品」～

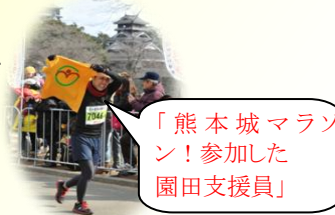
通所チーフ 園田 英樹

私のお勧めは「K・SWISS」というブランドの靴です。先日の熊本城マラソンでも使用したのですが、独自のクッションテクノロジーを搭載しており、特徴的なチューブ状のアウトソールがダイナミックな動きで衝撃を吸収。ランニングだけではなく、ウォーキングやワークアウト等のアクティビティにも最適な一足です。



1966年に2人のスイス人によって世界初のオールレザーテニスシューズが生み出されたのが「K・SWISS」の始まり。そんなブランド誕生の背景もあってか、テニスシューズや名モデル「クラシックオリジナル」のイメージが強い「K・SWISS」ですが、実はランニングシューズにも近年相当力を入れているんです。

これからウォーキングや運動を始めようと思っている方がいらっしゃいましたら是非試されてみて下さい。



ありがとうございます

三月三十一日、四月一日の二日間にわたり年度末職員研修を行いました。研修では、魚住信義先生のお話や家族懇話会の中で様々な立場のご家族より普段のご利用者様の様子や生い立ち、ご家族の気持ちを聞く事が出来る貴重な時間となりました。帰省時間等でご協力頂きましたご家族の皆さま、本当にありがとうございました。

ひまわりトークについて

お知らせとなりますが、今年度のポリシーにもあるように、深く向き合った支援を行っていくために現在、「ひまわりトーク」を実施しております。「ひまわりトーク」ではご本人、ご家族と担当支援員で支援を深く考え、ご家庭での様子をお聞きすると同時に、施設での様子をご報告させて頂く機会となっております。このひまわりトークの貴重なお時間の中でたくさんのご家族から「家族の想い」をお聞きしたいと思っております。ご協力のほど宜しくお願いいたします。

スタッフブログ

『めいとく日和』より

さくらオールスターズ城彩苑に舞い降りる
Sun, March 25, 2012 19:06:00 posted by meitokukai
テーマ:さくらグループ

いよいよ待ちに待った・・・ドーン

さくらグループのダンス活動の集大成・・・ドーン

オハイエくまもとが・・・ドーン

キターアアアアアアアアアアアアキター——(V)——!!!

やり遂げました! 笑顔と元気を届けてきました!?

城彩苑を鮮やかに彩りましたよ



「めいとく日和」で検索



右のQRコードでさっそくアクセスしてみてください!!

ボランティア募集



●活動ボランティア

日中の生活場面においてサポートしていただける方

●フィーバーボランティア

第1金曜日に実施しているディスコやイベントと一緒に楽しんでいただける方
ボランティア未経験の方でも大歓迎です。
気軽にご連絡下さい。

電話

096-215-9101

Male

meitokunosato@yahoo.co.jp

ボランティア担当:今井

連絡先QRコード



1日密着取材 ~オレンジハウス世話人編~

オレンジハウス
専属スタッフ
勤続年数:1年半
勤務体制:
A勤 7:00~16:00
夜勤 15:30~翌 9:30
B勤 9:00~18:00



門田ひとみ支援員



12:00



めいとくの里に戻り、食事介助を行う。
介助が終って食事を摂る。



13:30



所属グループの活動に入る。



15:00



活動終了。終了後は、オレンジハウスの入居者様の帰宅準備を行う。



15:45



帰宅準備が整ったら、歩いてオレンジハウスに帰る。
(雨天の場合は車で移動)



16:00



帰宅後、夜勤者に申し送りをを行い、勤務終了。

次回は、生活介護のあおぞらグループ支援員の密着取材です!!
お楽しみに!!



~1日の流れ~



7:00



出勤後、申し送りを行い、ご利用者様起床促しを行う。



7:50



めいとくまで朝食を取りに行く。



8:00



食事の準備を行ない、食事介助・後片付けをする。



9:30



めいとくの里に行く準備をお手伝いをする。



10:00



オレンジハウスに戻り、掃除をする。

「プロフェッショナル」対談

新人職員対理事長・副施設長

第一回目は新しい風を運んでくれる新人職員と理事長・副施設長の対談を取材しました。福祉施設で働く上で、新人職員の「人となり」や「今後の目標」を話しました。理事長・副施設長と対談することで、今後の目標に対してのアドバイスを話して頂く機会を設け、新人職員としての心得を、学んでもらえたらと思います。

○まずは自己紹介。
(理事長) 四方寄町出身
大学時代はバイトに励んだ。自分は福祉の世界に進むとは思っていなかったんよ。色んな職業の経験が今、役に立っていると思うね。



(人見友善さん) 天草出身
父も母も福祉の仕事をしている。小さい頃から家庭で福祉の話しを普通に聞いて育ちました。めいとくの里は色々な活動グループがあると聞いて就職を希望しました。



(坂本由和さん)
おばあちゃん子だった。学生時代は、おひさまクラブなどに参加したり、障害児ティンダービスボランティア部に所属していました。高校生では華道部に所属。将来は相談員になりたいです。

(高田亮さん)
野球部に所属するも故障で断念。その後吹奏楽部へ

簿記一級の合格は嬉しかった。就職先を考える際、めいとくの里を見学し、環境の良さに魅かれた。

◇ちよつと質問
○新人研修を終えてどうでしたか?

(人) スケジュールに追われてました。

(坂) 精神的に一日目、二日目は疲れました。後半は頑張れた。

(高) 僕は事務職ですが、新人研修はみっちり介護現場でした。良い経験が出来ました。



理事長

副施設長

人見支援員 坂本支援員 高田事務員

○今後の目標は?どんな職員になりたいですか?

(人) とにかく色々な事を吸収したい。

(坂) ご利用者様から信頼される支援員になりたい。

(高) 事務長と仲良く。怒られないように頑張ります。

(石井副施設長)
今のその気持ちをノートに残しておいた方がいいよ。

(新人職員) ノートですか?

(石) そう。今日のこの気持ちを残しておくことで一年後の自分の成長が分かるから。

(石) 一年目はいっぱい失敗している年。どんどん失敗しているんな事を吸収する事が自分のステップになる。

(広) 何かをやる上で「うっしょ」でも「〇」だから出来ないよね」となりがち。でも「どうやれば出来るか」を考えるのも支援員の仕事の一つかも。

(理事長)

そうやって企画したものは、本当に面白いし、提供する側もご利用者様も楽しんで出来るよね。

新人職員のキラキラした瞳に力を頂きました。新人一年目は本当に貴重な時間だったと改めて思います。理事長や副施設長とゆっくり話す機会になり、今回の対談を聞きながら「めいとくらしさ」を確認出来た時間となりました。

短い時間でも顔を合わせて話しをする事で想いは伝わるんだと思います。ありがとうございました。



就労移行支援事業のご案内

ゆめくらし ワークス

就労移行支援事業とは？

就労移行支援事業とは、「働きたい」と考えていて就職を目指す障がいのある方が利用できる福祉サービスです。利用には期限があり最大2年間の利用が可能です。

ご利用者様の声

- ・就職をしたいと思っているがどうしてよいかわからない…
- ・これまでの失敗が頭に強く残っており、自信が持てない…
- ・自分の障害について職場に理解してもらった上で就職をしたい…
- ・就職後も不安なのでサポートがあったら…

見学・体験可能です
ご連絡ください!!

このような思いがあり就労移行支援事業の利用を始めました。

就労移行支援事業 ゆめくらしワークス では…

- ・個別の目標立てや日々の訓練プランと一緒に考えています。
- ・できること・得意なことに着目した支援を展開しています。
- ・本人に合った仕事を探す相談や職業生活についての相談も実施しています。
- ・企業での実習を経験していただき就職に向けたスキルアップトレーニングを実施しています。
- ・就職に際しては必要な関係機関と連携して継続した就業ができるようにサポートしています。

就職実績・定着状況

	平成22年度	平成23年度
就職者数	3名	6名
就職継続の方(6か月以上)	3名	6名 継続中
就職までの平均在籍期間	1年3か月	

【お問い合わせ】※就労移行支援事業担当者をお呼び出してください。

社会福祉法人 明徳会 障がい者支援施設 チャレンジめいとくの里 就労移行支援事業「ゆめくらしワークス」

Address：熊本市明徳町707-1 Tel：096-215-9101

<http://www.meitokukai.jp>

地域生活支援センターチャレンジ!

平成 24 年 4 月から熊本市は「政令指定都市」になりました。地域生活支援センターチャレンジは北区役所(元:植木総合支所)から南に約 1kmの所にあり、バス停「植木三丁目」のすぐ近くで交通の便利な場所です。

北区役所にお越しの際はお立ち寄り下さい。

相談支援事業所では、障がいのある方が自立した日常生活・社会生活が出来るように、福祉サービスの情報提供、利用申請や契約に係る支援、成年後見制度の活用、地域福祉権利擁護事業の活用、住まい、就労、社会参加や余暇活動に関する援助等、必要な支援を行います。困った時、迷ったことがあったら、気軽にご相談して下さい。

地域生活支援センターチャレンジ 後藤

住所 熊本市北区植木町植木 163-1

電話 227-6450 fax 227-6451

E-mail meitoku-challenge@live.jp

自立訓練（生活訓練）事業

障がいを持たれている方が地域で生活できるように日常的、社会的に必要な能力(料理・洗濯・マナー・作業するために必要な体力など)向上を目指した支援、必要な訓練を行う事業で利用期間が最大2年間ですので、今年度よりご利用者様一人ひとりに合ったカリキュラムを作成し、その方が必要とされている生活力・作業能力の向上を目指していきたいと思っております。

その為に、支援者側から活動・作業内容を提供するばかりではなく、自分たちで体験した中から、必要と感じてもらいそれが出来るようになりたいと思っております。重点ポイントをおいた支援を行いたいと思っております。

具体的には、自分たちで外出(映画やボウリング)企画・立案して、そのために必要なことは何かあるかミーティングを行ない、その中でできた課題一つずつを自分たちで解決していくような取り組み等を行ないたいと思っております。

その為にはさまざまな方のご協力が必要となりますので、その際は宜しく願います。

生活訓練事業所(ひまわりグループリーダー:福田)